

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	7101	領域略称名	多経路自食作用
研究領域名	マルチモードオートファジー：多彩な経路と選択性が織り成す自己分解系の理解		
領域代表者名 (所属等)	小松 雅明 順天堂大学・医学（系）研究科（研究院）・教授		

(評価結果)

A+（研究領域の設定目的に照らして、期待以上の進展が認められる）

(評価結果の所見)

本領域研究は、オートファジーの多様な経路と選択的な基質分解、その生理機能や疾患との関わりを解明しようとする意欲的な研究であり、動植物を含む多様なモデル生物を用いてオートファジーの全体像の解明を目指す。マクロオートファジーに関する研究成果と知識・技術の蓄積を土台として、ミクロオートファジーをはじめ新規に見出された多様な経路や選択的基質分解の分子メカニズムの解析など、オートファジー全体を視野に独創的かつ革新的な研究が進められており、その成果が新たな細胞内ダイナミクス理解につながりつつある。

当初掲げられていた内容に対する研究が順調に進んでいるだけでなく、オートファジーの開始機構や基質選択性などについて目覚ましい成果が見られ、高く評価できる。さらに、総括班のリーダーシップの下、多数の幅広い公募研究が加わり、技術提供などの連携体制がとられ、総合的に非常によくオーガナイズされている。

今後は、オートファジー研究の各論にとどまる可能性を避けるべく、分子機構の詳細な研究に加えて、生理機能の解析などを通じて、多様性の中での共通性についても明確な研究方針を掲げて研究領域を推進いただき、新学術領域の形成に向けて更なる成果が生み出されることも期待したい。